

令和8年度 名古屋市教育委員会生涯学習課における大学連携講座等実施概要

1 趣 旨

この事業は、名古屋市教育委員会生涯学習課（以下、生涯学習課）が、大学等高等教育機関（以下、大学）と連携し、大学連携講座等（以下、連携講座等）をイーブルなごや、生涯学習センター、大学キャンパス等で実施することにより、市民の多様な学習要求に応えることをねらいとする。

2 主 催

この連携講座等は、大学と名古屋市教育委員会が協力して実施する共催事業と位置付ける。

3 種 別

(1) 大学連携講座

○ 大学連携講座

大学と生涯学習課が共同で企画し、イーブルなごや、または、生涯学習センターを会場とする講座である。内容は、生涯学習課が指定したものとする。

○ 大学連携キャンパス講座（以下、キャンパス講座）

大学が主に企画し、原則、大学を会場とする講座である。内容、コマ数は自由とする。

(2) 市民大学公開講演会（大学連携）（以下、公開講演会）

大学と生涯学習課が共同で企画した講演会である。生涯学習課講座案内には、「市民大学公開講演会（大学連携）」と記載する。イーブルなごや、生涯学習センター、または大学を会場とする講演会である。

4 実施数

- ・ 大学連携講座は、1大学につき、1講座程度行うことができる。
- ・ 公開講演会は、1大学につき、1講演会以上行うことができる。
- ・ 連携講座等の合計実施数は、各期15講座程度行うことにする。

5 大学連携講座の内容・役割分担等

○ 大学連携講座

(1) 内容：下表の①～③のいずれかとする。

- ① 産学官連携講座
講座の中で、産業界からも講師派遣を受け、産学官が連携することで、学問的な面と実務的な面の双方から学習機会提供を行う講座
- ② 職業観・勤労観の育成に関する講座
子どもが様々な職業に憧れをもち、その職業について理解を深めることができる講座（キャリア教育、親子での学び等）
- ③ 超高齢社会への対応に関する講座
すべての人が豊かな人生を送ることができるような個々の関心やニーズに合った学びや社会の変化に対応した講座（リカレント教育（※）に関する内容、名古屋の魅力を感じる内容、社会貢献に関わる内容等）
※ 「リカレント教育」とは、アップスキリングやリススキリングの双方を含むとともに、学び直しも含む広義の意味で使用する。

(2) 会場：使用料無料（生涯学習課で確保）。使用機器は、会場により要相談。

＜イーブルなごやの場合＞

第1・2集会室（定員58人）、または視聴覚室（定員126人）とする。

＜生涯学習センターの場合＞

生涯学習センター視聴覚室（定員50～60人程度）を原則とする。

(3) 回数：1講座2回以上で適した回数とする。

また、生涯学習センターで開催する場合、3～6回とする。

(4) 日時：大学が日付・時間帯を提案し、生涯学習課と実施可能日を調整する。

1回を原則90分とし、時間帯は「午前」「午後」「夜間」から選択する。

午前：午前10時～午前12時までの間で90分

午後：午後1時30分～午後3時30分までの間で90分

夜間：午後6時～午後8時までの間で90分

(5) 定員：会場の定員に準ずる。

(6) 対象：一般（15歳以上、中学生を除く）、または小中学生とその保護者

(7) 受講料：原則無料。有料の場合は、大学の収入とし、名古屋市民大学受講料に準ずる（1回あたり300円）。

(8) 受講申込：生涯学習課

(9) 役割分担：

【大学】

- ① 講座案企画 ② 講師選定 ③ 日時提案 ④ 講師謝金負担
⑤ 講座資料準備（印刷、配送等）
⑥ （受講料が有料の場合）領収書作成・受講料徴収事務

【生涯学習課】

- ① 講座案企画、調整 ② 日時調整 ③ 広報 ④ 会場調整、確保
⑤ 申込受付事務 ⑥ 講座運営（名簿準備、講師紹介、会場準備、後片付け等）

※ 生涯学習センターで開催する場合は、④～⑥を生涯学習センターが担当する。
また、生涯学習センターの講座案内にも掲載する。

○ キャンパス講座

(1) 内容：自由

(2) 会場・回数・日時・定員・対象・受講料：大学で決定

※ ただし、キャンパスが本市外にあり、キャンパスでの実施が困難な場合、イーブルなごやでの開催が可能。その際は、大学連携講座の各項目に準じる。

※ オンラインで実施する場合、配信環境を講座案内に記載する。

(3) 受講申込：大学

(4) 役割分担

【大学】

- ① 講座案企画 ② 講師選定 ③ 日時調整 ④ 会場確保
- ⑤ 申込受付事務 ⑥ (受講料が有料の場合) 領収書作成・受講料徴収事務
- ⑦ 講座準備 (資料印刷等、名簿作成、会場準備、オンライン環境等)
- ⑧ 講座運営 (講師紹介、後片付け等) ⑨ 講師謝金負担

【生涯学習課】

- ① 広報 (講座案内やWebナビなごやへの掲載)

6 公開講演会の内容・役割分担等

<イーブルなごやで開催する場合>

(1) 内 容：下表の①～⑥のいずれかとする。

- ① 大学・企業の「最先端研究」に関わる内容（防災、国際理解、科学など）
- ② 名古屋の「魅力」について学ぶ内容（名古屋の歴史、文化、ものづくりなど）
- ③ 「社会貢献」に関わる内容（まちづくり、社会参画、ボランティア育成など）
- ④ 「現代社会の課題」に関わる内容
（超高齢社会への対応、環境問題、リカレント教育に関する内容など）
- ⑤ 職業観・勤労観の育成に関わる内容（キャリア教育、親子での学びなど）
- ⑥ 産学官連携といった「新たな連携」による内容

(2) 会 場：ホール（定員350人）、または視聴覚室（定員126人）とする。

使用料無料（生涯学習課で確保）。使用機器は、会場により要相談。

(3) 回 数：原則1講演会（大学連携講座と別に実施可。1講演会以上の場合は要相談）。

(4) 日 時：大学が日付・時間帯を提案し、生涯学習課と調整する。

(5) 定 員：会場の定員に準ずる。

(6) 対 象：一般（15歳以上、中学生を除く）、または小中学生とその保護者

(7) 受 講 料：無料

(8) 役割分担：

【大学】

① 講演会案企画 ② 講師選定 ③ 日時提案

④ 資料準備（印刷、配送等） ⑤ 講師謝金負担

【生涯学習課】

① 日時調整 ② 広報 ③ 会場調整、確保 ④ 講演会申込受付事務

⑤ 講演会運営（名簿準備、講師紹介、会場準備、後片付け等）

(9) 受講申込：当日先着順

または 生涯学習課まで直接申込（電子申請、往復はがき等）

<生涯学習センターで開催する場合>

(1) 内 容：前述<イーブルなごやを会場とする場合>に準ずる。

(2) 会 場：生涯学習センターにおいて公開講座で使用する部屋を原則とする。

使用料無料（生涯学習課で確保）。使用機器は、会場により要相談。

(3) 回 数：原則1講演会（大学連携講座と別に実施可。1講演会以上の場合は要相談）。

(4) 日時・定員・対象・受講料：前述<イーブルなごやを会場とする場合>に準ずる。

(5) 役割分担：

【大学】

① 講演会案企画 ② 講師選定 ③ 日時提案 ④ 講演会申込受付事務

⑤ （受講料が有料の場合）領収書の作成・受講料の徴収事務

⑥ 講演会資料準備（印刷、配送等） ⑦ 講師謝金の負担

【生涯学習課】

① 日時調整 ② 広報 ③ 会場調整、確保

④ 講座運営（名簿準備、講師紹介、会場準備、後片付け等）

(6) 申 込：当日先着順 または、

大学に申込 または、生涯学習課まで直接申込（電子申請、往復はがき等）

＜大学で開催する場合＞

- (1) 内 容：自由
- (2) 会 場：大学キャンパス・オンライン
- (3) 回 数：1回（大学連携講座と別に実施可能）
- (4) 日時・定員・対象・受講料：大学が決定
- (5) 役割分担：

【大学】

- ① 講演会案企画
- ② 講師選定
- ③ 日時調整
- ④ 会場の確保
- ⑤ 講演会申込受付事務
- ⑥ （受講料が有料の場合）領収書の作成・受講料の徴収事務
- ⑦ 資料準備（印刷、配送等）
- ⑧ 講座運営（名簿準備、講師紹介、会場準備、後片付け等）
- ⑨ 講師謝金負担
- ⑩ （オンライン実施の場合）オンライン配信環境の準備

【生涯学習課】

- ① 広報
- (6) 申 込：当日先着順 または、
大学に申込 または、生涯学習課まで直接申込（電子申請、往復はがき等）

7 提出物

連携講座等の開設を希望する場合、下記内容を、締切日までに、メールまたは専用フォームにて、生涯学習課へ送付する。

○ 専用フォームは、インターネットサイト「生涯学習Webナビなごや」

(<https://www.suisin.city.nagoya.jp/>) トップページの下段「専用フォーム等」から別紙をダウンロード。

→ 別紙を、生涯学習課メール（推進）：a3211571-01@kyoiku.city.nagoya.lg.jpまで送付

| 種別 | 提出物 | 締切（前期開講） | | 締切（後期開講） | |
|-----------------|-----------|----------|---------------|----------|--------------|
| 大学連携講座 | 別紙 1・2 | 別紙1 | 令和7年12月12日(金) | 別紙1 | 令和8年5月12日(火) |
| | | 別紙2 | 令和8年1月13日(火) | 別紙2 | 令和8年6月9日(火) |
| キャンパス 講座 | 別紙 3・4 | 別紙3 | 令和7年12月12日(金) | 別紙3 | 令和8年5月12日(火) |
| | | 別紙4 | 令和8年1月13日(火) | 別紙4 | 令和8年6月9日(火) |
| 公開講演会 (大学連携) | 別紙 5・6 | 別紙5 | 令和7年12月12日(金) | 別紙5 | 令和8年5月12日(火) |
| | | 別紙6 | 令和8年1月13日(火) | 別紙6 | 令和8年6月9日(火) |

※前期（5月中旬～9月下旬に開講）

後期（10月中旬～3月上旬に開講）

○ LoGoフォームからも、申請可能とする。

大学連携講座：（別紙1）<https://logofom.jp/form/mX9C/715293>

（別紙2）<https://logofom.jp/form/mX9C/715464>

キャンパス講座：（別紙3）<https://logofom.jp/form/mX9C/715557>

（別紙4）<https://logofom.jp/form/mX9C/715844>

公開講演会（大学連携）：（別紙5）<https://logofom.jp/form/mX9C/718352>

（別紙6）<https://logofom.jp/form/mX9C/718604>